

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	日々の関わりの中での気づきや変化に対して利用者様への対応はできる限りおこなっており、記載もしているが利用者様の意向や思いが必ずしもプランに反映できていない部分もある。	職員全員が一人ひとりの思いや感情・行動に関心を持ち、ご本人の「できる事」「わかる事」を発見し情報を共有して、プランに反映していく。	暮らし方や希望・自分の意向を聞き取れない利用者様の場合、できる限り家族様からのお話を聞かせて頂く。 馴染みの関係性を活かし、利用者様の視点にたって考える。決めつけるのではなく、話し合いの中からよいものを探っていく。	12ヶ月
2	35	夜間を想定し訓練を行なっているが、職員だけの避難誘導には限界がある。 地域住民との合同訓練がおこなえていない。	地域住民や消防署等との連携を図り事業所の災害対策に理解し、協力体制を築きより安全に避難誘導ができるようにマニュアルをつくる。	災害はどの時間帯に起きるかわからないので昼夜を通じて発生時間を想定し訓練をおこなう。 日頃より、地域住民とのコミュニティを活発におこなう。マニュアル化し誰が見てもわかるようにし周知する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。